

学校経営ビジョン

1. 教育目標 【かしこく やさしく たくましく】

自他を認め大切にすることをもち、自ら考え判断し実行する子の育成

2. めざす子ども像

校訓 自学…課題を見つけ、自らすすんで学ぶ子

至誠…何事も最後まで粘り強くやり抜く子

敬愛…自分を大切にし、他に思いやりのある子

<すすんで学ぶ子>

- ・自ら課題を見つけ、解決するために進んで考え、よりよく実践していく子
- ・友達の考えをよく聞き、自分の考えと比べ、友達と学び合っていく子

<やりぬく子>

- ・何ごとにもあきらめず、最後までがんばろうとする子
- ・自らを振りかえり、目標を持って、友達と共に高め合っていく子

<健康で思いやりのある子>

- ・認め合い、助け合い、励まし合える子
- ・あいさつがしっかりでき、感謝の気持ちを素直に表現できる子

3. めざす学校像

(1) 確かな学力をはぐくむ学校

- ・授業を学級経営の根幹に据え、望ましい学習規律と学習習慣の定着を図る。
- ・授業のねらいと、ねらいを達成した姿を明確にし、児童の主体性を高める授業改善を図る。
- ・「わかる」「できる」の実感を伴った授業を通して、児童の自尊感情を高める。
- ・学力調査やアンケート調査結果の分析をふまえ、各学年の課題を明らかにした上で授業改善を行う。

(2) 子ども一人一人の心身を育成する学校

- ・自分や友達の良さを認め合い、協力し合い、学び合う集団の育成を図る。
- ・夢や希望を持ち、目標に向かってねばり強く努力する子を育てると共に、たくましい体と心の育成を図る。
- ・児童の規範意識を醸成し、自己肯定感や自己有用感を育て、居場所のある学校づくりを進める。
- ・豊かな心やコミュニケーション能力を育成するため、読書活動や地域との交流活動を推進する。

(3) 保護者・地域との連携を深める学校

- ・目指すこと、取り組んでいることを情報発信し、家庭や地域との連携を密にして信頼を深める。
- ・教育活動においてスピード感のある評価と見直しを図り、熱意と誠意ある教職員の姿勢を示す。
ー 教師が変われば子どもが変わる 子どもが変われば保護者が変わる ー

(4) 望ましい教職員集団の学校

- ・教職員が「子どものより良い成長をめざし、力を合わせることで学校組織の役割」という意識で、常に自らの役割を自覚し責任をもって、組織的(職責の自覚)、創造的(課題改善)、効率的(内容の精選・時間)な学校運営へ主体的に参画する。
- ・全教職員が担任の意識を持ち、「その子にとってプラスになる」ことを根底に、子どもの人格を大切にしたい優しい指導と、毅然とした指導を心がける。

4. 教育目標実現のために

- 子どもたちや学級の目指す姿を明確にし、学期ごとに計画的に取り組む。
 - 1 学期…規律・課題を明確にし、徹底させる。
 - 2 学期…取組を再確認し、充実・発展させる。
 - 3 学期…成長を実感させ、夢や希望をふくらませる。
- 「聞く、話す」姿勢と学習規律を、すべての学習の基本として全学年で共通の指導を行う。
 - ・聞く時は「話は目で聞く」、話す時は「自分の言葉で目を見て話す」
- 1時間の課題を明確に持たせる。(授業のねらいは何か、子どもにつけたい力は何か)
- 子どもが主体的に活動できるように、日々の学校生活・行事を工夫する。
 - ◇学級や学校を、自分達で創り上げる意識を持たせる。
- いじめや不登校のない学級づくりを進めるため積極的な生徒指導を行う。
 - ・各種アンケートや面談の結果共有と、組織的で迅速な対応
 - ・日常指導 (いじめ行為を許さない、見逃さない体制づくり)

5. 本年度の重点事項

(1) 学力向上をめざして

- ・問題を読み解く力、自分の考えを書き表して伝える力を向上させるための取組を、全学年、全教科を通して行う。
- ・児童の主体的な学習意欲を高める。そのために、以下の視点で授業改善を図る。
 - ねらい (学習のゴールの姿) の明確化、課題の設定と学習活動の工夫を推進する。
 - 授業の振り返りを大切にし、学びを実感できる授業を積み重ね、児童の自尊感情を高める。
 - 発達段階に応じた学習規律と学習習慣を確立し、安心して自分の意見をいえる学習集団を作る。
- ・校内研修を活性化し、学力調査結果等の分析を生かし、組織的に授業改善と学力向上に取り組む。

(2) 子ども一人一人の心身の育成をめざして

- ・全教育活動で子どもの主体性を高め、何ごとにも意欲的に取り組み、進んで挨拶をし感謝を表現できる態度を育む。(児童会活動や児童主体の行事の活性化、生徒指導の三機能を生かした授業)
- ・最後まであきらめずやり遂げる体験を積み重ね、子どもに自信を持たせ、自尊感情を高める。
- ・子ども一人一人の人格を大切にし、自他の良さや成長を実感できる規律ある集団作りを進める。
- ・家庭と連携し、テレビやゲーム、ネットの適切な利用と、家庭学習の充実を推進する。

(3) 組織的で機動的な教員集団をめざして

- ・前例踏襲にとらわれず常に改善意識をもち、何ごとに対してもチームで迅速で丁寧な対応を行う。
- ・教職員一人一人が目的意識をもって力量を高めるため、計画的に OJT や研修等を行う。
- ・教職員が相互補完をし、教職員集団として学校力を高める。
- ・学校評価計画書における今年度の重点目標を達成するために、R-PDCAで常に検証しながら、取組を行う。

◇子どもたちのために、使命感と責任感を持って互いに支え合う

教師集団「庄」をつくる!

◇子どもたち全員に居場所があり、毎日来ることが楽しくなる学校をつくる!